



国内男子プロバスケットボールリーグ(Bリーグ)で活動する群馬クレインサンダーズ。「バスケットで群馬を熱くする」の理念の下、今シーズンはB1昇格に向け躍進を続けています。昨年(2020年)の11月14・15日には初の太田市開催の試合で快勝。会場の臨場感や迫力で多くの人を魅了しました。

群馬クレインサンダーズ

清水市長 × 阿久澤社長

プロスポーツには夢がある B2制覇 そしてB1昇格へ

市長・阿久澤 明けましておめでとうございます。

市長 今シーズンのスローガンは「前人未踏」ですね。昨年の11月に太田で開催した試合も含め連勝が続いていますが、社長から見てどうでしょうか？

阿久澤 11月の試合はシーズンが始まったばかりでしたが、試合を重ねることで、もともと選手が持っている力量が発揮されて勝率が上がると思っています。

ツがあると、みんなが団結して、みんなで盛り上げる雰囲気ができます。特に、バスケットは見ていて身近に感じるスポーツですね。



阿久澤 11月の試合はたくさんの人に来ていただいた中で、接戦を制する良い試合でした。あの試合を見た人は、バスケットを楽しんでいると感じ、また見てみたいと思ったのではないのでしょうか。そういう試合を数多くお見せしたいです。

社長の立場で見たサンダーズ

市長 「阿久澤社長=野球」というイメージ。野球では監督、今度は社長として

チームを引っ張っていますが、ご自身の感覚としてはどうですか？

阿久澤 太田の試合でも分かると思いますが、最後にメンタルの強さで一流と二流の境界線があると思います。ギリギリのところどっちに転ぶかですね。良い選手は大事な場面でいい動きをするし、決める人がスターになっていると思います。サンダーズには、そういうスター選手がいて持ち味を出していますね。

太田市×群馬クレインサンダーズ

市長 やっぱり、プロスポーツが身近にあるのはいいですね。今、サンダーズの本拠地は前橋にあるけれども、群馬で育てるつもりで太田も連携してチームを育てていくのが良いと思っています。

阿久澤 B1昇格を目指していくには、特定のエリアではなく、群馬の皆さんがチームを育てる方が望ましいと思っています。



市長 前橋と太田は車で1時間。この中で動きが取れるのはエリアとしてはいいですね。私たちも前橋に応援に行きますし、ぜひ太田でも試合をしてもらいたいです。

阿久澤 多くのまちから声が掛かり、いろいろな場所でゲームができればありがたいです。認知度が上がれば選手にとってもチャンスにつながります。

今年のサンダーズの抱負

市長 今年はどんな年にしたいですか？

阿久澤 まずは今シーズンに掲げた「前人未踏」の力でB1に昇格することです。それは、県内に良い意味で動きをもたらすと思います。

市長 今シーズンの最終戦は太田で開催です。これからどんどん盛り上げて、最後に良い締めくくりをしてもらいたいです。

阿久澤 太田で試合することを選手も楽しみにしています。4月に太田の皆さんに良い結果を持ってこられるように頑張ります。

Profile プロフィール

あくざわつよし
阿久澤 毅

1960年、前橋市生まれ。桐生高校では春夏連続で甲子園に出場。太田・桐生・渋川・勢多農林高校で教諭・野球部監督として活躍後、昨年の7月からチームを運営する(株)群馬プロバスケットボールコミッションの代表取締役社長に就任。

太田での試合を振り返って

市長 バスケットって面白いですよね。野球はピッチャーによって試合が構成されるけど、バスケットは総合力という感じがします。

阿久澤 そうですね。ゲームの中でたくさんボールに触れるわけですが、いかに確率高く、自分の持ち味を出せるかが大事だと思います。

市長 試合を見て感じましたが、プロスポーツには夢がありますね。プロスポー